歩いて発見！ 茎崎マップ

つくばの台地より3つの川が流れ込む牛久沼。
農業用水として江川を経て龍ヶ崎の水田を潤し、
投げ網や張り網による漁業も続けられている。
上流にある茎崎の台地では、砂質の土壌を活かした
スイカ・メロン・ネギ・落花生が特産品となり、
岸辺では釣り・水上レジャー・
野鳥観察などを楽しめる。

アースデイつくば実行委員会

歩いて発見！ 茎崎マップ

2011年3月発行

●この地図について

2010年10月17日、アースデイつくばの合同企画「歩いて発見！ 茎崎めぐり」の記録より作成しました。講師の金澤清實氏、宮本次郎氏、石井二郎氏にお話を伺いながら、19名の参加者と共に歩き、知見を深めました。旧道や自然、史跡を見つけることで、先人の自然とつきあう生活スタイルを見直すきっかけになればと思います。お気づきの点がありましたら、アースデイつくば事務局までご連絡ください。

●参考文献
「茎崎町史」平成六年、茎崎町
「企画 牛久沼」平成八年、龍ヶ崎市歴史民俗資料館

●監修／金澤 清實（元 茎崎町文化財保護委員）
協力／宮本 次郎（元 谷津田で遊ぶ会代表）
石井 二郎（元 茎崎自然を守る会代表）

●注意
建物や遺構の多くは個人の所有地であり、神社仏閣は地域の大切な場所です。訪れる時は、地域の方々の生活の迷惑にならないようにお願いいたします。

交通
【つくバス】つくバスは、つくば市のコミュニティバスです。
TEL029-883-1111（代）つくば市交通政策課
●**つくバス南部シャトル（約29分間隔で運行）** TX（つくばエクスプレス）つくば駅・つくばセンター発→松代→谷田部車庫→農林団地中央→高野台中央→高崎中央→高見原中央→茎崎窓口センター着
●**つくバス自由ヶ丘シャトル（約29分間隔で運行）** TXみどりの駅発→谷田部窓口センター→つくば工科高校→緑が丘団地入口→梅ヶ丘団地→茎崎運動公園→茎崎窓口センター→自由ヶ丘団地→あしび野→富士見台着

【関東鉄道バス】TEL 029-836-1145 つくば中央営業所
●JR牛久駅 発→高見原・高崎・桜ヶ丘 経由 → みどりの駅方面
●JR牛久駅 発→茎崎窓口センター・森の里団地方面
●JR藤代駅 発→自由ヶ丘方面

歩いて発見！マップ
●筑波山麓 ●神郡 ●北条 ●小田 ●谷田部 ●茎崎
つくば市総合案内所（TXつくば駅） **つくば市観光物産課**
市民活動センター（つくば市吾妻）などで配布中

Think Globally, Act Locally.
アースデイつくば実行委員会

歩いて発見！マップ作りをご支援ください。
郵便局からは 00120-1-763702「口座名：アースデイつくば実行委員会」
銀行からは 019店-当座-0763702

アイラブつくばまちづくり補助事業

企画／星野式ゲルソン療法を実践するランチの会 制作／ガイアグラフィクス 表紙写真／鶴田 学

若栗

念向寺（ねんこうじ）㉖
平安初期に創建。平将門より寺領を寄進されたという。鎌倉時代より時宗。天正年間に若栗城と共に戦火により焼失。戦国末期に再建され、江戸時代は谷田部藩領となる。藩主の細川氏の帰依が厚く、三代興隆が仏門に入り、熊本の細川本家の家宝である六字名号（南無阿弥陀仏）と天神公（菅原道真公）の掛け軸二幅を寄進した。境内には、市指定文化財の大シイと大イチョウがあり、イチョウは茨城の巨木百選の一つである。。

若栗城跡㉗
城主の栗林義長は、岡見氏の重臣で智略家であった。義長は「猟師に撃たれかけた狐を助けた農夫と恩返しで女に化けた狐の間に生まれた子の孫」という伝承があり、龍ヶ崎飛び地にある女化（おなばけ）稲荷を創建したという。

つくば牡丹園㉘
大輪咲きのボタン五百種を始め、二一五種のシャクヤクや八十種のバラが植栽されている。四月中旬が見所のほか、一～月中旬～六二月はワラ帽子を被った寒ボタンが見られる。電話876・3660

若栗の鹿島神社㉙
天慶二年（939年）、平将門より社領を寄進されたという。天正年間に戦火で焼失。戦国末期に再建。

大井・樋の沢

小野川西岸の台地にある大井には、五十塚古墳群㉚があり、平安後期には新田開発され、荘園が作られた。大井池をはじめ猪子池、市の台池などの溜池が残る。江戸時代は谷田部藩領。月読神社のある樋の沢が新田開発された。

大井の聖天神社（しょうてんじんじゃ）㉛
本尊の密仏男女和合の歓喜仏は順周りで総代家に安置するという。近接する集落センターには、江戸前期の大日如来浮彫石碑、江戸中期の天明飢饉供養碑がある。

月読神社（つきよみじんじゃ）㉜
天慶八年（945年）創建。平将門が護持仏の勢至菩薩（二十三夜神）を祀ったと伝えられる。「三夜様」ともいわれ、農業と開運の神様として信仰を広める。江戸後期の探検家、間宮林蔵の両親が子どもを授かるように願かけした伝承もある。境内のシイの巨木が御神木。十二月には霜月大祭、二月には初三夜が行われる。